2004.11.22 改訂について

続けてバグ修正を行うとともに、次の機能の追加開発に着手しました。但し、これらの新機能はまだ開発途中で、最終的に NC プログラムを生成するに至っておりません。

（１） サイドカッターによる溝加工とセットカッターによる幅加工の加工特徴を追加しました。

（２） ９０°以外の任意角度の B 軸回転を必要とする設計面上の加工特徴。

（３） A、B あるいは C 軸回転位置決めを要する５軸加工に対応する機能。

2004.07.10 改訂について

これまでにユーザから寄せられたバグレポートと改良提案に基づいて手直しを加え、PCadCam2000 はベータ版を脱し、正式に実用に供し得るソフトウェアとなりました。それに伴い取扱説明書を改訂いたしました。

PCadCam2000 ソフトウェア取扱説明書 2004.05.07 改訂について

PCadCam2000 ソフトウェアの 2004.04.07 バージョンのホームページ初掲載は、AutoCAD2000 以降の各バージョンに対応する編集作業に手間取り、大幅に遅れておりました。その間に生じた改良項目について訂正を行いましたものが、取扱説明書の当改訂版であります。

PCadCam2000 バージョン 2004.04.07 の公開にあたって

AutoCAD2000 以降に対応する PCadCam2000 の開発は、これまでの旧バージョンである PCadCam r13 が Visual C++でソースコードを作成していたものを Visual Basic（VBA）に変更する作業に手間取っておりました。

PCI 創設メンバーの支援とインドネシアバンドン工科大学の開発グループの努力により、このたび漸く旧 r13 バージョンとほぼ同等の機能を備える状況に到りましたので、ここに初めてユーザ各位のご使用に供するものであります。現時点の 2000 バージョンは、まだマイナーなバグがかなり残っています。また r13 ではできなかった幾つかの新機能をさらに継続して開発を進めます。

PCI は今後、旧 r13 バージョンと新 2000 バージョンの両方を WEB 上でも公開し、各位の使用に供してまいります。二つのソフトウェアはほぼ同等な機能を果たしますが、両者の間に互換性はありません。別個なソフトウェアであります。すなわち、AutoCAD r13 を使用される場合には PCadCam r13 を使って下さい。AutoCAD2000、2000i、2001、2002、2003 または 2004 を使用される場合には PCadCam2000 をお使い下さい。

とくに CAM データベースの取扱い方法と、ソフトウェアインストールの手順が 2000 バージョンでは全面的に変更されました。それぞれ当該の取扱い説明書に従って行って下さい。

以上